

第24回麻布大学同窓会九州地区連絡協議会及び懇親会の開催

恒例になった年一回の麻布大学同窓会九州地区連絡協議会は、梅雨時期である平成19年6月23日に大分県の日田市の天領時代の面影を残す水郷日田、その三隈川の川畔にたたずむ「亀山亭（きざんてい）ホテル」で開催されました。

九州各県より24名の同窓生が参加する中、麻布獣医学園より村田元秀理事長、同窓会本部より紫野正雄会長が見えられ、花を添えていただきました。

村田理事長、紫野会長より麻布獣医学園や麻布大学、同窓会の近況報告をうかがい、出席者一同、母校及びそれを取り巻く教育環境の発展の姿を思い浮かべながら、夢と希望を膨らませることができました。同窓生からは、過疎地域や公務員の獣医師不足の現状も報告されました。

三隈川の夏の風物詩といえば遊船と鵜飼い、天領時代に代官たちが最高の娯楽とした歴史の深い雅な川遊びです。今回の懇親会は、その遊船で開催され、梅雨時期にもかかわらず、雨も降らず涼しい時間が過ぎました。また懇親会中は、九州地区連絡協議会の濱崎五郎会長（熊本県）が持参されたCD（麻布大学応援歌）がバックミュージックとして流れ、古き良き時代を思い出しながら、昔話に盛り上がり非常に有意義な同窓会となりました。屋形船恒例の鵜飼いも見ることができ、鵜達が不思議そうに酔い人を見つめながら過ぎ去っていきました。

大分県支部 事務局 川部

